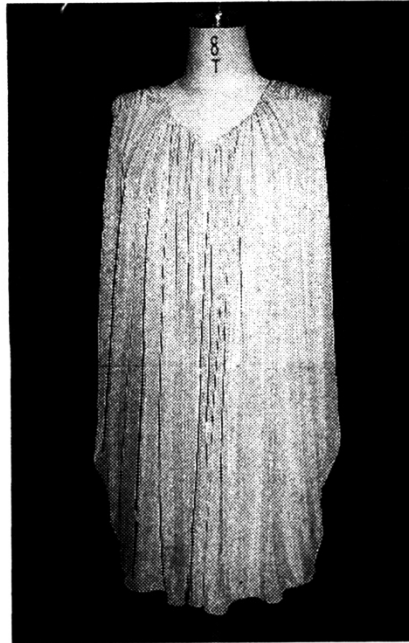


ヴァローレエ

ドレスのODM好調

サンプル縫製など内製化で



12年春夏展で人気が高かった
ギャザーワンピース

話になりがち。技術者が取引先としっかりと話し込むことで、ニーズを的確に反映した商品に仕上げる事ができる」と考えるからだ。

結婚式やパーティーシーンを想定したドレスアイテムが好調で、この2年ほどは前年比10〜20%ペースで伸びている。

「安く作るのではなく、価値の高い商品をタイムリーに作る事が大事。昨年に比べて商品単価も上がってきた」と素材の選択やシルエットの出し方で差別化する方向性に手応えを感じている。12年春夏で人気が高かったのは、シフォンのギャザーワンピース（2万6000円）。バックスタイルが特徴的で背面の肩部分を黒のレースで切り替えた。

婦人服のOEM（相手先ブランドによる生産）やODM（相手先ブランドによる設計・生産）を手掛けるヴァローレエ（大阪市、電話06・6910・8455）の有力セレクトショップ向けODM事業が好調だ。特にドレスアイテムが良いという。

企画、パターンメイキング、サンプル縫製を社内内製化している点特徴で、「人件費は掛かるが、商品の完成度の高さ」とスピードで差別化できる」と

櫻井啓蔵社長は話す。展示会では、デザイナーやパタンナーが取引先と話し込み、細かなニーズやニュアンスをくみ取る。「営業マンが前に出ると価格の